

NPO法人オンザロード 東日本大震災プロジェクト活動報告書

平成 23 年 8 月 25 日～ 8 月 31 日

【石巻市基本情報】

- 担当地域名：宮城県石巻市渡波地区、女川町周辺
- 避難者人数：石巻市 1,868 人／女川町 296 人
- 指定避難所数：石巻市 59 / 女川町 7
- 全壊家屋数+半壊家屋数：石巻市 22,603 / 女川町 3,276
- ライフラインの復旧状況：石巻市内では電気、都市ガスは復旧、水道に関してはほぼ復旧しています。女川町では電気、水道はほぼ復旧、ガスは被害はなし。 ※8月31日宮城県調べ

■現在の活動内容：



復興応援ツアー「石巻★元気トリップ」の2回目の催行をし、それぞれの班が定めた8月末および9月末の目標に向けて体制を再度見直し、オンザロードとしての着地点へ向かい全力で復興支援活動を行っています。

□各班の活動内容



●片付け班

- ・延べ 402 人
- ・終了件数：21 件
- ・担当地区：石巻市渡波、尾崎、大宮町、女川町出島
- ・廃棄物回収量：260t / 総側溝長 3,013m
- ・ブロック塀撤去：60m
- ・解体作業件数：8 件

尾崎の一部地域では道が遮断されていた為、ゴミ・ガレキの撤去が遅れていて住民の避難が続いていましたが、水・電気が復旧次第、54 世帯が戻ることになりました。このような特別地域への支援内容を視野に入れつつ、ボランティアが作業できる片付けニーズが終了出来るよう、復興に向け着実に作業にあたっていきたいと思えます。



●漁業支援班

- ・延べ 8 人
- ・担当地区：石巻市万石浦湾



震災による地盤沈下の影響の為、80cm 以上沈み陸地でなくなってしまったあさり漁場で、漁師の方々の指導の下収穫のお手伝いをしました。普段は漁師の方々も使用しないジョレンを用いて胸まで水に浸かりながら、約 40Kg のあさを収穫しました。かなりの数のあさが死んでいましたが、生きているものはしっかりと味のまま収穫出来ました。お裾分けいただいたあさは、仮設住宅介助班の行う集会所のお茶会でふるまわせていただきます。

■今後の予定：

8月が終了し、各班の動きも大分定着してきました。10月以降の体制については、再度しっかり検討しながら復興支援活動を続けていきます。また、台風による影響も予測した上で対策・準備を練り、安全確保しながら活動していく方針です。

■課題、ミッション：

8月末より一部のボランティアの受け入れを制限させていただきました。現場ではマンパワーを必要とする片付けなどの緊急人道支援から、仮設住宅のコミュニティ作りなどの長期的な生活再建支援へと、復興に向けて動き出しているという理由からです。しかし、今後もより多くの方に携わっていただけるよう、復興支援の受け入れ体制を整えていきたいと思いをします。